

「ABCP／ABL統計調査」(四半期調査:2019年12月末時点)
集計結果の公表について

一般社団法人 流動化・証券化協議会

当協議会では、分野・テーマ別に専門委員会、小委員会、ワーキング・グループを設置して、資産の流動化・証券化に係る諸課題の協議・検討を行っており、その中の「証券化技術を使ったバンキングワーキング・グループ(WG)」は、ABCP(Asset Backed Commercial Paper)／ABL(Asset Backed Loan)市場の発展を通して、わが国の企業金融の円滑化に資すること等を目的として設置されています。

同WGでは、活動の一環として、ABCP／ABLの市場把握を目的とした「ABCP／ABL統計調査」を実施し、5年分の年間調査と2年分の四半期調査の集計結果を2009年6月22日に公表しました。

本統計調査は、ABCP／ABL市場の実態把握および統計整備の観点から、その後も、四半期ごとに実施しており、今回、2019年12月末時点の四半期調査の集計結果がまとまりましたので公表します。

なお、裏付資産における電子記録債権の残高を参考数値として掲載しています(後掲「参考2」をご参照下さい)。

◆「ABCP／ABL統計調査」(四半期調査:2019年12月末時点)集計結果

〔回答社数と業種内訳〕

| 業種 | 社数 |
|-------|-----|
| 銀行 | 13社 |
| ノンバンク | 3社 |
| 合計 | 16社 |

1. 四半期調査(2019/12末時点)

単位:残高、裏付資産別残高=億円、オリジネーター数=人

| | 残高 | | | 裏付資産別残高 | | | オリジネーター数 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|----------|
| | 全残高 | うちABCP | うちABL | 手形債権 | 売掛債権 | 長期金銭債権 | |
| 2019/12末 | 82,609 | 10,598 | 71,991 | 7,744 | 39,864 | 33,955 | 1,371 |
| 対前年同期比 (2018/12末) 増減率 | 1.8% | ▲9.9% | 3.8% | ▲6.2% | ▲0.3% | 6.9% | ▲7.2% |
| 対前四半期 (2019/9末) 増減率 | ▲0.5% | 3.5% | ▲1.1% | 6.3% | 0.5% | ▲3.0% | 0.1% |

〔注記〕

- 一部の回答企業において、「裏付資産別残高」の3類型に該当しない「1年以内償還のその他債権」の残高があるため、「全残高」上は、この数値は反映されていますが、「裏付資産別残高」上は、分類不能のため数値を除外しています。
- 「対前年同期比(2018/12末)増減率」および「対前四半期(2019/9末)増減率」は、小数点第二位以下を四捨五入しています。
- 2012/3末調査より、オリジネーター数は、従来の「金融法人」、「事業法人」の区別をせず、オリジネーター数の総計の数値を掲載していますので、あらかじめご了承ください。

2. 四半期調査(時系列表)

単位: 残高、裏付資産別残高=億円、オリジネーター数=人

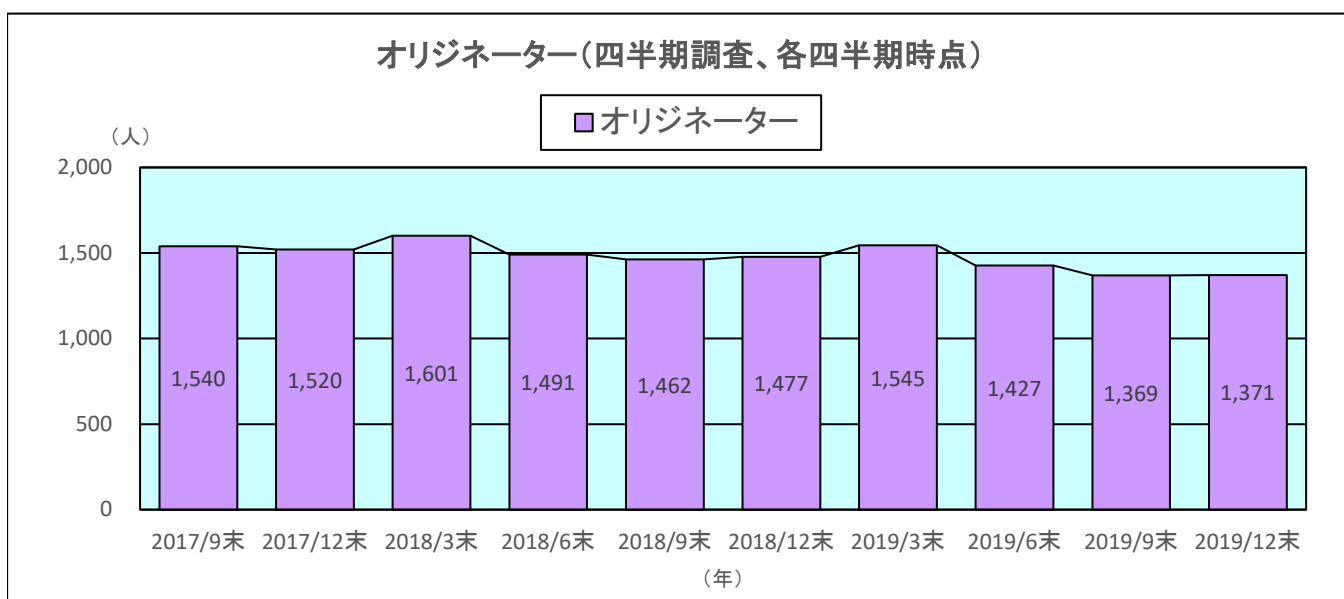
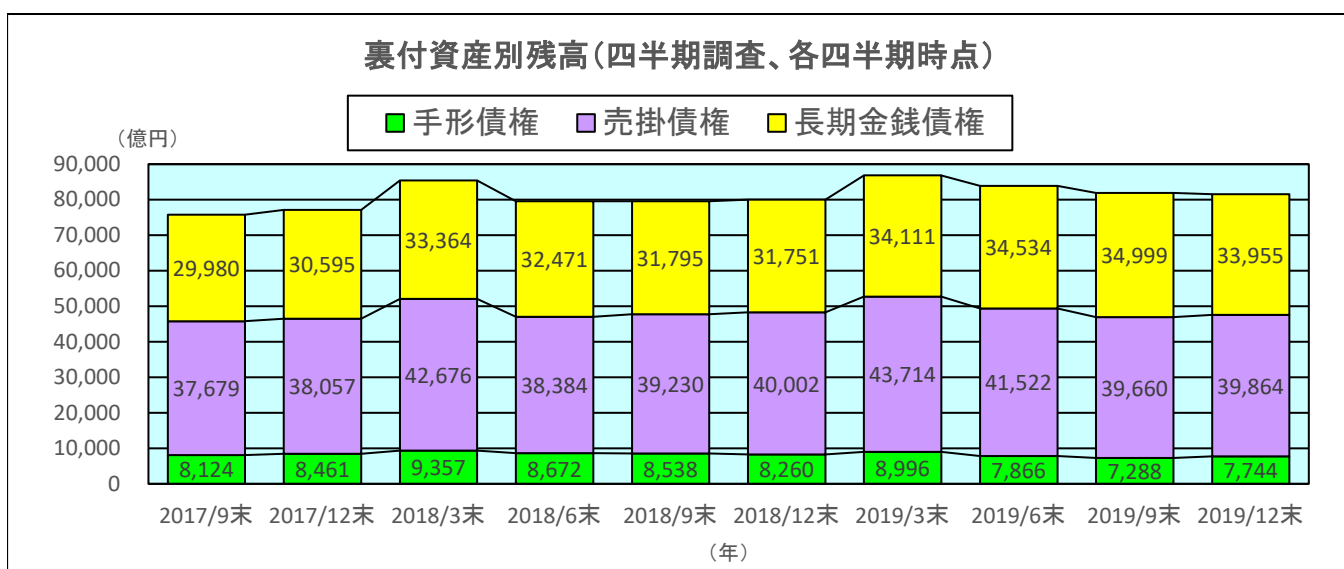
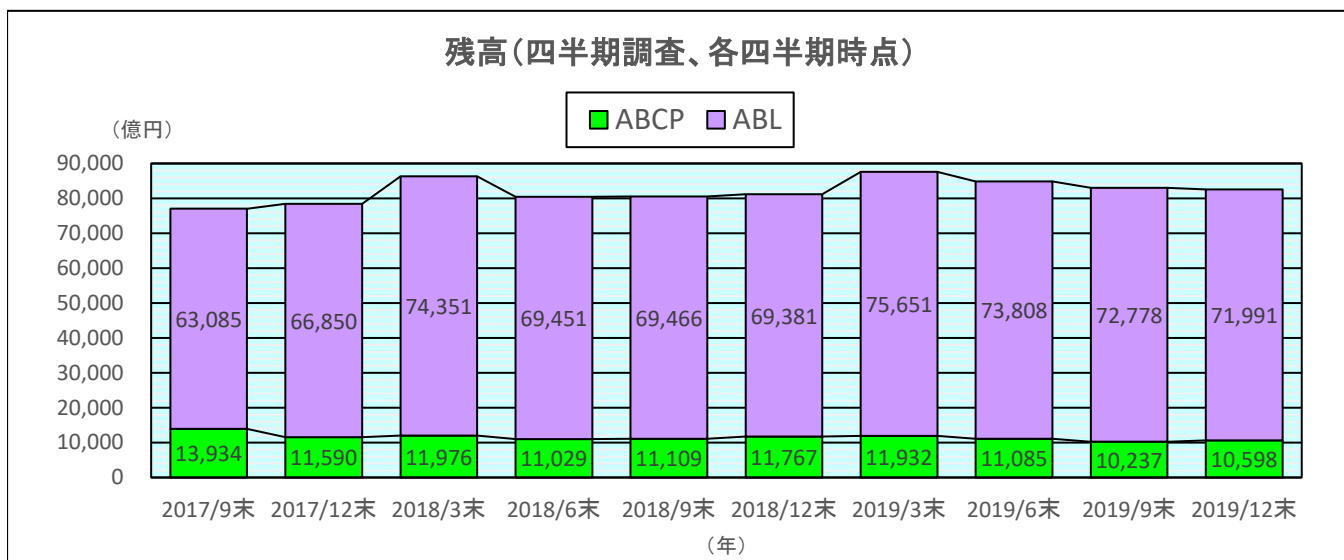
| | 残高 | | | 裏付資産別残高 | | | オリジネーター数 |
|----------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|----------|
| | 全残高 | うちABCP | うちABL | 手形債権 | 売掛債権 | 長期金銭債権 | |
| 2019/12末 | 82,609 | 10,598 | 71,991 | 7,744 | 39,864 | 33,955 | 1,371 |
| 2019/9末 | 83,035 | 10,237 | 72,778 | 7,288 | 39,660 | 34,999 | 1,369 |
| 2019/6末 | 84,895 | 11,085 | 73,808 | 7,866 | 41,522 | 34,534 | 1,427 |
| 2019/3末 | 87,587 | 11,932 | 75,651 | 8,996 | 43,714 | 34,111 | 1,545 |
| 2018/12末 | 81,154 | 11,767 | 69,381 | 8,260 | 40,002 | 31,751 | 1,477 |
| 2018/9末 | 80,583 | 11,109 | 69,466 | 8,538 | 39,230 | 31,795 | 1,462 |
| 2018/6末 | 80,491 | 11,029 | 69,451 | 8,672 | 38,384 | 32,471 | 1,491 |
| 2018/3末 | 86,339 | 11,976 | 74,351 | 9,357 | 42,676 | 33,364 | 1,601 |
| 2017/12末 | 78,440 | 11,590 | 66,850 | 8,461 | 38,057 | 30,595 | 1,520 |
| 2017/9末 | 77,018 | 13,934 | 63,085 | 8,124 | 37,679 | 29,980 | 1,540 |
| 2017/6末 | 74,194 | 12,830 | 61,365 | 8,271 | 35,730 | 28,942 | 1,548 |
| 2017/3末 | 79,637 | 14,716 | 64,921 | 8,661 | 39,834 | 30,094 | 1,634 |
| 2016/12末 | 73,268 | 14,576 | 58,692 | 8,667 | 35,778 | 27,699 | 1,541 |
| 2016/9末 | 71,053 | 13,522 | 57,530 | 8,182 | 33,921 | 28,089 | 1,577 |
| 2016/6末 | 69,761 | 13,528 | 56,232 | 8,900 | 33,544 | 26,372 | 1,581 |
| 2016/3末 | 75,908 | 15,065 | 60,842 | 9,802 | 38,923 | 26,336 | 1,672 |
| 2015/12末 | 72,033 | 15,778 | 56,255 | 9,683 | 36,933 | 24,577 | 1,607 |
| 2015/9末 | 70,300 | 14,752 | 55,548 | 9,606 | 36,175 | 23,768 | 1,605 |
| 2015/6末 | 69,482 | 16,104 | 53,378 | 10,457 | 35,955 | 22,447 | 1,596 |
| 2015/3末 | 76,385 | 17,732 | 58,653 | 11,538 | 43,221 | 21,092 | 1,709 |
| 2014/12末 | 73,940 | 19,256 | 54,685 | 11,013 | 43,697 | 18,529 | 1,621 |
| 2014/9末 | 66,704 | 16,139 | 50,565 | 10,075 | 39,720 | 16,287 | 1,663 |
| 2014/6末 | 64,819 | 17,887 | 46,932 | 9,725 | 38,762 | 15,886 | 1,689 |
| 2014/3末 | 72,552 | 19,456 | 53,095 | 10,668 | 45,383 | 16,111 | 1,725 |
| 2013/12末 | 67,124 | 17,987 | 49,137 | 10,346 | 42,630 | 13,709 | 1,658 |
| 2013/9末 | 62,831 | 15,654 | 47,177 | 9,737 | 39,326 | 13,508 | 1,712 |
| 2013/6末 | 63,628 | 23,536 | 40,092 | 10,294 | 39,764 | 13,330 | 1,701 |
| 2013/3末 | 71,126 | 25,071 | 46,053 | 11,287 | 45,073 | 14,589 | 1,748 |
| 2012/12末 | 66,339 | 25,083 | 41,255 | 10,278 | 41,820 | 14,009 | 1,708 |
| 2012/9末 | 66,636 | 24,556 | 42,080 | 10,356 | 42,005 | 14,023 | 1,764 |
| 2012/6末 | 65,146 | 25,871 | 39,275 | 10,407 | 40,330 | 14,220 | 1,697 |
| 2012/3末 | 72,152 | 29,077 | 43,075 | 11,540 | 45,453 | 14,678 | 1,766 |
| 2011/12末 | 70,029 | 27,439 | 42,591 | 10,743 | 44,300 | 14,713 | 1,724 |
| 2011/9末 | 67,933 | 25,494 | 42,438 | 10,005 | 41,894 | 15,719 | 1,731 |

| | | | | | | | |
|----------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 2011/6末 | 67,281 | 25,483 | 41,798 | 10,280 | 39,445 | 17,330 | 1,728 |
| 2011/3末 | 75,933 | 27,436 | 48,497 | 11,001 | 45,514 | 19,176 | 1,802 |
| 2010/12末 | 75,088 | 27,766 | 47,322 | 10,179 | 45,003 | 19,699 | 1,730 |
| 2010/9末 | 73,931 | 27,087 | 46,843 | 9,832 | 42,665 | 21,223 | 1,740 |
| 2010/6末 | 72,424 | 25,597 | 46,827 | 10,518 | 38,791 | 22,913 | 1,779 |
| 2010/3末 | 80,038 | 30,356 | 49,682 | 11,352 | 43,758 | 24,674 | 1,884 |
| 2009/12末 | 80,462 | 31,167 | 49,295 | 10,961 | 43,306 | 25,897 | 1,844 |
| 2009/9末 | 81,063 | 31,216 | 49,847 | 11,461 | 40,997 | 28,252 | 1,939 |
| 2009/6末 | 79,423 | 30,933 | 48,488 | 14,504 | 36,578 | 28,209 | 1,936 |
| 2009/3末 | 95,983 | 39,496 | 56,486 | 19,484 | 46,176 | 30,136 | 2,151 |
| 2008/12末 | 102,652 | 42,249 | 60,400 | 20,646 | 52,718 | 29,202 | 2,166 |
| 2008/9末 | 97,698 | 41,883 | 55,815 | 19,666 | 53,420 | 24,565 | 2,219 |
| 2008/6末 | 93,357 | 43,465 | 49,892 | 19,326 | 50,264 | 23,619 | 2,252 |
| 2008/3末 | 103,259 | 50,209 | 53,050 | 21,293 | 56,297 | 25,190 | 2,498 |
| 2007/12末 | 97,159 | 46,848 | 50,311 | 14,281 | 44,299 | 19,294 | 2,074 |
| 2007/9末 | 101,895 | 48,984 | 52,911 | 14,830 | 46,260 | 19,737 | 2,136 |
| 2007/6末 | 93,931 | 47,980 | 45,951 | 14,175 | 41,254 | 18,825 | 1,995 |
| 2007/3末 | 105,806 | 57,043 | 48,764 | 15,971 | 47,097 | 19,966 | 2,031 |

〔注記〕

- ・2007/3末～2007/12末の各数値は、集計不能により一部未回答の企業があるため、参考数値としてご覧下さい。
- ・2007/3末～2007/12末の「全残高」の数値と「裏付資産別残高」の合計数値に大きな開きが見られますが、これは、当該の期間は、残高は回答したものの、裏付資産別残高は集計不能により一部未回答の企業があるためです。
- ・オリジネーター数は、提出金融機関間の重複があると考えられるため、実際のオリジネーター数は本統計調査の社数よりも少ないものと推測されます。
- ・2012/3末調査より、オリジネーター数は、従来の「金融法人」、「事業法人」の区別をせず、オリジネーター数の総計の数値を掲載していますので、あらかじめご了承下さい。それに伴い、過去の調査結果におけるオリジネーター数も、便宜上、「金融法人」および「事業法人」の総計を計算し直した上で記載しています。

3. 四半期調査(時系列表:グラフ)



【注記】
 ・時系列表の各グラフは、掲載スペースの都合上、「2007/3末」～「2017/6末」の数値は割愛していますので、あらかじめご了承下さい。

4. 本集計結果に関する分析コメント

(1) 対前年同期(2018/12末)との比較に関するコメント

[2019/12末の経済環境]

・景気ウォッチャー調査(2019年12月調査)の景気の現状判断DIは、39.8(前月比+0.4ポイント)と2か月連続の上昇、景気の先行き判断DIは45.4(同▲0.3ポイント)となったが、このところ景気回復には弱さがみられる。

・企業にとってのCP市場・社債市場等の直接調達及び金融機関借入等の間接調達ともに調達環境は引き続き良好であり、アセットファイナンス分野にとっては追い風とは言えない状況である。一方、全残高は、2018/3末調査において、2010年3月末以来の8兆円台を記録し、その後の調査でも8兆円台を維持しているが、今回も順調に8兆円台を維持している。

[全残高の比較]

・2019/12末時点のABCP/ABL残高は、約8.26兆円と前年同期(2018/12末)の約8.12兆円と比較して、1,455億円増の1.8%の増加となり、10兆円台を記録していた2008/12末以降の12月末の数値としては最高の残高を記録した。ただし、下記のとおり、オリジネーター数の減少傾向は続いており、全残高の増加は一部の大口利用者の利用増加が要因と推測される。

・ABLは前年同期比で3.8%の増加、ABCPは9.9%の減少となっており、今回もABCPからABLへのシフトの傾向は続いている。

[裏付資産別残高の比較]

・裏付資産別でみると、「手形債権」と「売掛債権」を合計した「短期金銭債権」については、前年同期比で1.4%の減少となった。内訳では、「手形債権」が6.2%の減少、「売掛債権」は0.3%の微減となり、「手形債権」は今回も8,000億円を割り込んでいるものの、調査開始以来最低となった前回調査よりは増加している。

・「長期金銭債権」については、前年同期比で6.9%の増加で、引き続き前年対比で増加傾向にある。

[オリジネーター数の比較]

・オリジネーター数は1,371社と、前年同期比で7.2%の減少となった。

(2) 対前四半期(2019/9末)との比較に関するコメント

[全残高の比較]

・全残高は、前四半期対比0.5%の微減となっている。

[裏付資産別残高の比較]

・裏付資産別でみると、「手形債権」は6.3%の増加、「売掛債権」は0.5%微増となったが、「長期金銭債権」は3.0%の減少となり、増加傾向に一旦、歯止めがかかった。

[オリジネーター数の比較]

・オリジネーター数は0.1%の微増となった。

(3) 裏付資産における電子記録債権の残高に関するコメント

・2019/12末時点の裏付資産における電子記録債権の残高は2,327億円と前年同期の2,250億円から77億円の増加となり、調査開始以来、最高の残高となった。

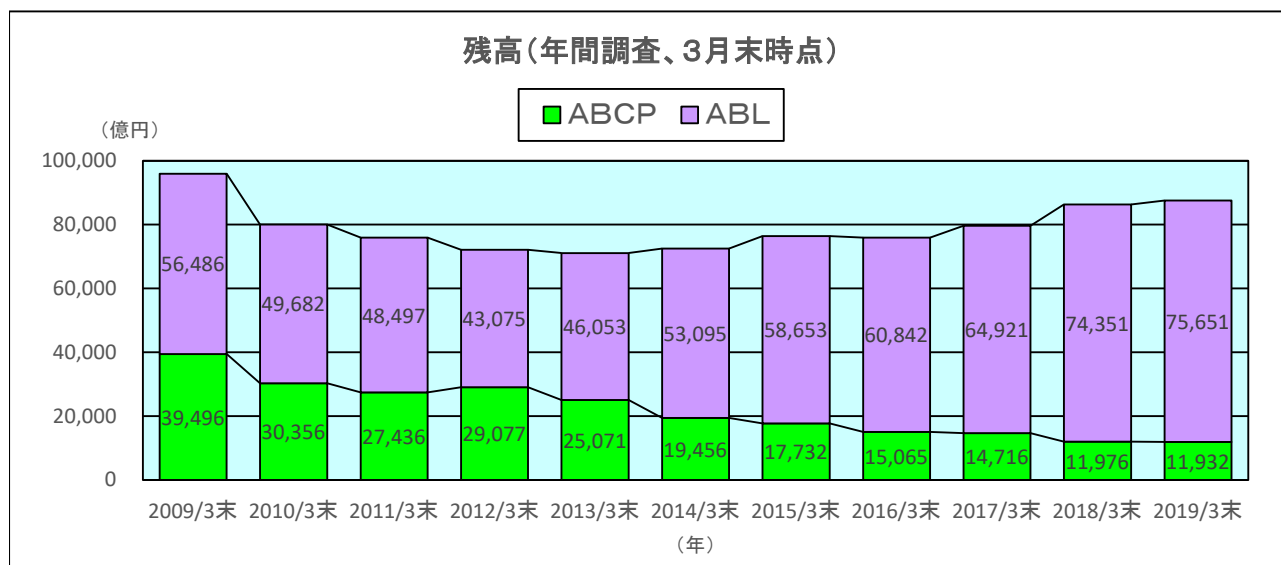
・全四半期対比でも138億円の増加となっており、2017/12末調査で2,000億円台を突破して以降、長らく続いている足踏み状態から抜け出すきっかけとなるのか注目される。

・引き続き、手形から電子記録債権へのシフトが進むことに伴い、裏付資産に占める電子記録債権の残高は増加してゆくものと推察されるが、残高の伸びの鈍化傾向はいまだ続いているため、今後の動向を注視していきたい。

(文責:証券化技術を使ったバンキングワーキング・グループ)

《参考1》 年間調査データ

以下は、2009年以降の3月末時点の残高の推移をグラフ化したものです。



【注記】

・掲載スペースの都合上、「2005/3末」～「2008/3末」の数値は割愛していますので、あらかじめご了承ください。

《参考2》 裏付資産における電子記録債権の残高(参考数値)

本統計調査では、平成25年2月より、「でんさいネット」(株式会社全銀電子債権ネットワーク)が電子債権記録機関としてのサービスを開始したことに伴い、今後より一層、電子記録債権の普及が進むことが予想されることから、2013/9末調査より、裏付資産における電子記録債権の残高の数値を調査・集計し、「参考数値」として公表します。

単位: 億円

| | 電子記録債権の残高 | | 電子記録債権の残高 | | 電子記録債権の残高 | | 電子記録債権の残高 |
|----------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|
| 2013/9末 | 24 | 2015/9末 | 878 | 2017/9末 | 1,896 | 2019/9末 | 2,189 |
| 2013/12末 | 130 | 2015/12末 | 1,086 | 2017/12末 | 2,168 | 2019/12末 | 2,327 |
| 2014/3末 | 146 | 2016/3末 | 1,231 | 2018/3末 | 2,127 | | |
| 2014/6末 | 186 | 2016/6末 | 1,100 | 2018/6末 | 2,089 | | |
| 2014/9末 | 351 | 2016/9末 | 1,257 | 2018/9末 | 2,057 | | |
| 2014/12末 | 532 | 2016/12末 | 1,413 | 2018/12末 | 2,250 | | |
| 2015/3末 | 684 | 2017/3末 | 1,693 | 2019/3末 | 2,148 | | |
| 2015/6末 | 793 | 2017/6末 | 1,905 | 2019/6末 | 2,258 | | |

【注記】

・本数値は、多くの金融機関が利用できる「でんさいネット」(株式会社全銀電子債権ネットワーク)の利用分のみを対象としており、他の電子債権記録機関の利用分は含まれていません。
 ・本統計は、基本的に、これまでABCPの発行額やABLの供与額をベースに裏付資産の数値を集計していますが、電子記録債権の数値は、ABCPやABLの裏付資産に一部混在することが予想されます。そのため、「ABCPの発行額やABLの供与額をベース」にした集計は難しいと判断し、本数値は「裏付資産の実額ベース」で集計しています。

ABCP/ABL統計調査要領(四半期調査:2019年12月末分)

一般社団法人 流動化・証券化協議会

1. 調査項目

ABCP (Asset Backed Commercial Paper) およびABL (Asset Backed Loan) の①残高、②裏付資産別残高、③オリジネーター数

2. 調査対象

銀行（都市銀行、信託銀行、地方銀行）、ノンバンク（クレジット会社、リース会社）等

3. その他

①期間・頻度

2019/12末時点の四半期調査

②定義

ABCP/ABLの各期末における発行残高（ABCP：CP発行残高。ABL：ローンの供与残高）

③数値の単位

・ ABCP・ABLの残高の数値の単位は「億円」。回答企業において「千万円」の単位を四捨五入して算出。

・ オリジネーターの法人数の単位は「人」

④その他

・ ABCPはスポンサーベース、ABLはローン供与ベース

・ パーティシパントの案件は含めない。

・ 信託ABLは含める（信託ABLのエクスポージャーを「手形債権」、「売掛債権」、「長期金銭債権」に分類）。

※長期金銭債権－1年以内償還の受取債権以外の金銭債権

4. 調査結果の回答期限

2020年2月10日（月）

5. 調査回答票の送付方法

調査回答票は、郵送、電子メールでのファイルの添付またはファクシミリにて流動化・証券化協議会事務局宛に送付。

6. 調査結果のとりまとめ

調査結果は、流動化・証券化協議会事務局が集計・とりまとめを行った。

各社からの調査結果は、本統計調査の集計のみに使用し、個社ベースの調査結果等は一切明らかにしない。

7. 調査結果の公表

とりまとめた調査結果については、流動化・証券化協議会ホームページ (<http://www.sfj.gr.jp/>) 上、その他により公表する。

8. 本調査の今後の実施について

四半期ごとに継続的に調査を実施する。

以 上